

秋田市学校適正配置

# 南部地域ブロック協議会だより

第2号

令和元年11月6日(水)18時30分から、南部市民サービスセンターにおいて、第2回南部地域ブロック協議会を開催しました。

## 第2回南部地域ブロック協議会の協議内容

協議会では、教育委員会から、4校の統合により開校した雄和小学校の事例や他都市の取組状況等について説明をした後、各所属団体に話し合われた内容について紹介していただき、委員間で意見交換を行いました。



### <議題>

- ・南部地域における学校統合の方向性について
- ・その他

### <協議の中で出された主な意見等>

○統合により、子ども達の教育環境が良くなることや、地域と学校の新たなつながりが築かれることを、この協議会の中で委員の皆さんと十分に協議したいと考えている。

○未就学児の保護者からは、学校がなくなるのは寂しいが、人口減少は事実であるため、統合もやむを得ないとの意見があった。

○この協議会は期限がなく、結論を急ぐものでないのであれば、早急に進める必要はないのではないか。

○南部地域では将来的にも複式学級が生じない見込みである。1学年1～2学級で十分ではないかと感じている。

○南部地域には、現在、城南中学校、御野場中学校、御所野学院中学校の3校があるが、望ましい学校数の上限が3校であるため、中学校に関しては現行のままでよいのではないか。

○他の地域のように、教育委員会から示される統合案がなければ、所属団体に持ち帰っても話が進まない。南部地域でも、次回、検討のたたき台となる統合案を示してほしい。

○所属団体に持ち帰ったところ、上北手地区から桜小や桜中へ通学していたり、城南中の近くから秋田南中へ通学しているという意見もあるため、隣接ブロックとの調整も必要だと思う。

○上北手地区から城南中学校に通うには距離が長く、熊の出没等を考えれば、通学の安全には配慮してほしいと思う。

裏面につづく

## <今回の協議で決定した事項>

### ★中学校は現状の3校のまま★

○中学校の上限は3校で現状と変わらないため、今後は、現在の中学校3校を存続させるものとする。小学校の学校統合の方向性については、引き続き協議していきます。

### ★統合のシミュレーション示す★

○協議会からの要請を受け、たたき台として、次回、教育委員会が学校の適正配置に向けた統合のシミュレーション（学校の組合せ）を示します。

## 第 3回南部地域ブロック協議会の開催予定

日 時：令和2年2月5日(水)18時30分～

会 場：南部市民サービスセンター 地域文化ホール

議 題：南部地域における学校統合の方向性  
(学校の組合せ)について 等



協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

### 地域ブロック協議会とは・・・

○秋田市教育委員会が平成31年3月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、小・中学校の学校統合の方向性(学校の組合せ)などについて、地域の代表者やPTAの代表者、未就学児の保護者、公募委員などで協議する組織です。

### ●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会学校適正配置推進室

秋田市山王一丁目1番1号

電 話 888-5812

F A X 888-5804

e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>

